

大切な人を亡くした 子どもをサポートする ボランティア養成講座

日時 2025年2月1日（土）・2日（日）
両日とも10:00～16:00

会場 常磐大学
見和キャンパスK棟205講義室

茨城県水戸市見和1-430-1

定員
40名

お申し込みは1/20まで
定員になり次第締め切らせていただきます

対象

子どもの心のサポートに関心のある方

18才以上 ※高校生不可

資格、経験、学歴、学部・学科は問いません

【参加費】

一般：1000円

大学生：500円

使用テキストは、「子どものグリーフを支えるワークブック」（梨の木舎）となります。

今回の養成講座では、PDF資料を配布します。*既にテキストをお持ちの方は、ご持参ください。

グリーフサポートいばらき ぶるーすかい

大切な人を亡くした時に抱える悲しみや哀惜など様々な気持ちを「グリーフ」と呼びます。アメリカにはグリーフを抱えた子どもを支えるためのプログラムが全米で500か所以上あります。

日本には東日本大震災のあった年に4か所しかありませんでしたが、ここ数年、子どものグリーフサポートがやっと注目されるようになり、現在、国内で30か所程の場ができました。

しかし、茨城をはじめ北関東には、大切な人を亡くした子どもをサポートするプログラムが少ないです。

私達グリーフサポートいばらきは、常磐大学を活動の拠点とし、2019年より活動をしている任意団体です。

本講座でグリーフプログラムで子どもと遊び、寄り添うボランティアを養成します。子どものサポートに関心のある方、茨城に子どものグリーフをサポートする場を一緒に作ってみませんか？

お申込み・お問い合わせ



QRコードを読み取り
お申込みください

お問合せ：グリーフサポートいばらき ぶるーすかい

✉ gurisapoibaraki@gmail.com

ホームページ：<https://sites.google.com/tokiwa-u.jp/griefsupport-ibaraki-bluesky/>

Facebookで過去の活動を公開しています！



グリーフサポートいばらき

検索

主催：常磐大学グリーフサポートいばらき ぶるーすかい 共催：常磐大学

後援：茨城県教育委員会 茨城県精神保健福祉センター 水戸市社会福祉協議会

本プログラムは2024年度水戸信用金庫教育研究助成を受けて実施されるものです

<講座の内容について>

病気、事故、自死などにより、親やきょうだいなど大切な人を亡くし、『グリーフ』（grief:なくなった人への愛おしい気持ち、悲しみ、苦しみ、怒りなど様々な気持ち）を抱えた子どもを支える「グリーフサポート」のための知識と、子どもに寄り添い、共に過ごすために有効なスキルを学びます。また、受講者が自分自身のグリーフを振り返るワークや、自分自身のケア（セルフケア）についても学びます。

グリーフプログラムに参加するファシリテーターになるためには、**2日間の受講**が必要です。

1日目

午前：一般公開講演
「子どもの悲しみに向き合う」
午後：
グリーフサポート、
ファシリテーターの役割
自分のグリーフを振り返る



2日目

グリーフプログラムの実際
子どもに寄り添うためのスキル
グループワーク スキル練習
ロールプレイ



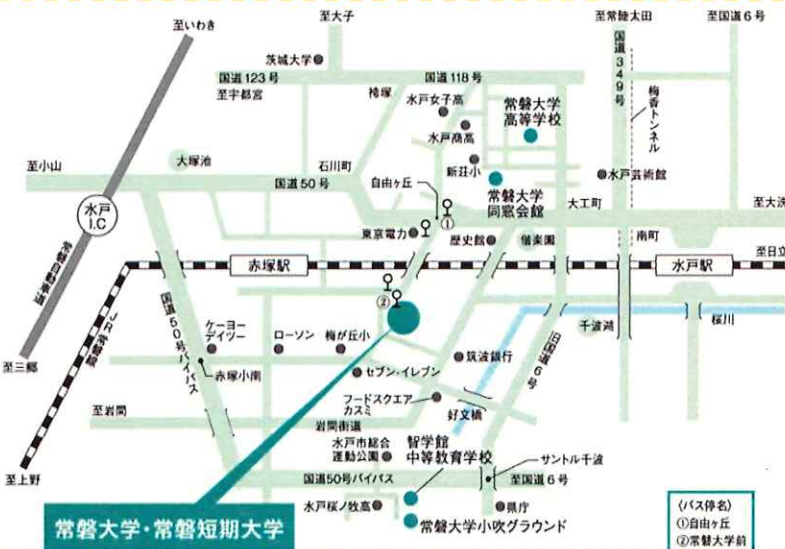
<受講後の活動について>

2日間の講座を修了された方は、今後開催予定のグリーフプログラムにボランティアとしてご参加いただくことが可能です。講座終了後に、プログラムに関するご説明や、ファシリテーター登録についてのご案内をさせていただきます。

<持ち物>

- ✓ 筆記用具・のりとはさみ・
- ✓ 不要になった雑誌（コラージュに使用します）

- ・昼食は各自ご用意ください。
- ・動きやすい格好でお越しください。
- ・資料等は当日お渡しします。



●お車でお越しの場合

無料駐車場が利用できます。
お申込み後にご案内いたします。

●バスをご利用の場合

■水戸駅北口5番バス乗り場

（赤塚駅・双葉台団地方面のりば）
「自由ヶ丘」バス停下車 徒歩5分 または、
常磐大学経由で「常磐大学前」バス停下車

■赤塚駅北口1番バス乗り場（JRバス関東）

「常磐大学前」バス停下車

■赤塚駅南口2番バス乗り場（茨城交通）

「常磐大学前」バス停下車

講師紹介：池内 彰子 常磐大学 精神看護学教授 看護学研究科長

- 2012年～：公益社団法人茨城県看護協会研修会講師
- 2014年～：日立市認知症ライフパートナー検定試験準備講座講師
- 2016年：日本精神科看護協会茨城県支部看護研修会「精神科看護における倫理」講師
- 日立市精神障害者家族会ハートねっと日立市民の会会員
- 【主な著書】精神看護学援助論（分担執筆）理工図書株式会社 2024.

顧問紹介：高橋 聡美 一般社団法人高橋聡美研究室代表

- 2006年より自死遺族のわかちあいの会を仙台で主宰。2010年より仙台で子どもグリーフプログラムをスタートさせ、2011年の東日本大震災ではあしなが育英会と協働で東北の遺児のケアに奔走し、現在に至る。またファシリテーター養成講座の講師を始め、全国に子どものグリーフサポートの場を作る支援活動をしている。
- 【主な著書】「グリーフケア 死別後の悲嘆の援助～」メチカルフレンド社
- 「死別を体験した子どもに寄り添う～沈黙とあのねの間で」梨の木社
- 【TV出演等】 クローズアップ現代、とくダネ、ニュースZERO、NHK視点論点、世界仰天ニュースなど

